

事務事業評価調書

事務事業名	千里ニュータウン情報館運営事業				
担当部署	都市計画部	室課名	計画調整室	室課長名	曾谷 博之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	吹田市立千里ニュータウン情報館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	11							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民、学生、全国のニュータウン研究者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	千里ニュータウンに関する研究を進めるとともに、まちづくりに関する多様な主体が相互に交流、連携することにより千里ニュータウンのまちづくりの推進に寄与する。												
(7) 事業概要	千里ニュータウンに関する資料を収集、整理し、展示などの情報発信をすることにより、千里ニュータウンの住民はもとより、まちづくりに関する多様な主体の相互交流、連携を図る。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	30	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		507	577	776	643	2,002							
	人件費	職員数	1.00	0.70	0.50	0.50	1.30							
		総額(B)	8,352	5,628	4,085	3,950	10,468							
	総事業費(A+B)		8,859	6,205	4,861	4,593	12,470							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		8,859	6,205	4,861	4,593	12,470						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		8,859	6,205	4,861	4,593	12,470								
財源計(C+D)		8,859	6,205	4,861	4,593	12,470								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	千里パブリックデザイン										
			②	株式会社東急コミュニティー										
			③											
			主な委託内容	秋季企画展展示企画運営業務、開閉館業務										
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 千里ニュータウンに関する資料を中心に、その魅力を内外に発信、これからのまちづくりを考えるきっかけとなる展示を行う。	目標値	(単位:人)	9,000.00	8,300.00	8,300.00	
			実績値	(単位:人)	8,210.00	7,226.00		
			達成度(%)		91.2	87.1		
	目標値の積算方法	千里ニュータウン情報館入館者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.76	0.65	
				一般財源(単位:千円)		0.76	0.65	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が指標で場合を示す		①	指標内容 千里ニュータウンのまちづくりに関心を持ち、千里ニュータウン情報館を拠点として活動する人材を育成	目標値	(単位:人)	10.00	0.00	10.00
	実績値			(単位:人)	8.00	0.00		
	達成度(%)			80.0	0.0			
	目標値の積算方法	千里ニュータウン情報館の企画展示等に協働参画する市民や大学、研究者等の数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		775.63	0.00	
				一般財源(単位:千円)		775.63	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	千里ニュータウンがまちびらきから50年以上が経過し、その間に集約された資料のアーカイブとしての役割が求められている。市民や研究者から寄贈された資料の整理を進め、順次公開していく。さらに、より多くの市民がこの場を活用して、まちづくりに関して相互に情報発信し、連携ができるよう必要な支援や取組を推進する。						

事務事業分析シート

所属名	計画調整室	事業名	千里ニュータウン情報館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00693				

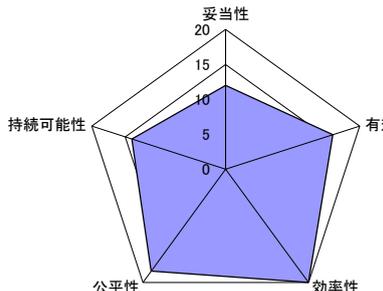
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	計画調整室	事務事業番号	00693
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>企画展示については、平成25年度から毎年実施し、定期的に取り組むことができているが、展示協力者の市民等が特定化してきている傾向がある。今後は、新たな人材の発掘や養成に取り組むほか、大学、研究機関などにも範囲を広げ、多様な主体が展示や情報発信の主役として機能することができるよう、取組を強化する必要がある。</p> <p>常設展示については、適宜、展示の様様替えなどに取り組んでいるところであるが、開館から5年近くが経過していることから、抜本的な展示の見直しも含めた展示のあり方について、市民とともに検討を進めていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里ニュータウンまちづくり広域連携事業				
担当部名	都市計画部	室課名	計画調整室	室課長名	曾谷 博之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成14年度	改正 内容	委員の役職名変更																	
(2) 直近の改正	平成28年度																			
(3) 根拠法令等	吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡会議会則、千里ニュータウン再生指針																			
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	11													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他															
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民(主に千里ニュータウンの住民)・千里ニュータウンで活動する団体等・豊中市行政																	
	結果 (どのような効果が得られるのか)	千里ニュータウンの課題を抽出することにより、再生の工夫ができる。																		
(7) 事業概要	吹田市及び豊中市が千里ニュータウンの再生に係る相互の情報交換や必要な行政間の調整を行うとともに、両市の市民が一体となったまちづくり活動の支援や地域課題解消のための活動の支援事業に取り組む。																			
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	01	大	事	業	06	中	事	業	01	小	事	業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項 目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		265	185	265	182	1,535													
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	1.50												
		総額(B)	千円	4,176	4,020	4,085	3,950	12,078												
	総事業費(A+B)		4,441	4,205	4,350	4,132	13,613													
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0												
		国		0	0	0	0	0												
		府		0	0	0	0	0												
	その他		0	0	0	0	0													
	(内訳)	市負担(D)		4,441	4,205	4,350	4,132	13,613												
		地方債		0	0	0	0	0												
その他		0	0	0	0	0														
一般財源		4,441	4,205	4,350	4,132	13,613														
財源計(C+D)		4,441	4,205	4,350	4,132	13,613														
(10) (該当するものは全部チェック)	実施方法		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①															
					②															
					③															
			主な委託内容																	
			<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡会議														
					②															
		③																		
		<input type="checkbox"/> その他	内容																	

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 連絡会議等の開催、まちづくりイベントの共同開催、まちづくり団体の活動支援	目標値	(単位:回)	28.00	28.00	32.00
			実績値	(単位:回)	24.00	32.00	/
		達成度(%)		85.7	114.3		
	目標値の積算方法 会議、イベント開催回数及びまちづくりに取り組む市民団体の会議参加回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	175.21	133.34		
			一般財源(単位:千円)	175.21	133.34		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 活動支援を行う市民団体が開催する千里ニュータウンのまちづくりに関するイベント、会議等参加人数	目標値	(単位:人)	375.00	420.00
	実績値			(単位:人)	450.00	635.00	/
	達成度(%)		120.0	151.2			
	目標値の積算方法 まちづくり市民フォーラムや千里キャンドルロード実行部会等参加人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	9.34	6.72		
			一般財源(単位:千円)	9.34	6.72		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が指標で場合を示す	① 活動内容				目標		
	② 成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	千里ニュータウン再生指針に基づき、吹田市と豊中市が共同して市民に働きかける企画やイベントを実施することにより、まちづくりの担い手を育て、市民主体で千里ニュータウンの再生を推進する必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	計画調整室	事業名	千里ニュータウンまちづくり広域連携事業	事業区分	その他
事務事業番号	00695				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	計画調整室	事務事業番号	00695
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>千里ニュータウンの再生にかかる課題解決のために、豊中市と連携して取り組んでいる。両市の市民を中心に、毎年まちづくりを考える市民フォーラムを開催し、市民意識を高める取組を10年以上にわたって継続し、新たな活動の担い手が出てきている。また、千里ニュータウンまちびらき50年事業を契機に実施された「千里キャンドルロード」を毎年実施するために、市民が主体的に取り組む活動が生まれ、さらに千里ニュータウンのにぎわいづくりに貢献する活動につながっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里ニュータウンまちづくり支援事業				
担当部名	都市計画部	室課名	計画調整室	室課長名	曾谷 博之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正内容	「千里ニュータウンのまちづくり指針」について、区域の明確化とわかりやすい表現へ修正																	
(2) 直近の改正	平成21年度																			
(3) 根拠法令等	千里ニュータウン再生指針、千里ニュータウン再生行動計画、千里ニュータウンのまちづくり指針等																			
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	10													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他															
	目標 (どうい状態にしたいのか)	範囲等	市民、事業者等																	
	結果 (どのような効果が得られるのか)	千里ニュータウンの良好な住環境の形成																		
(7) 事業概要	千里ニュータウンの良好な住環境を継承、創造していくための再生のまちづくりについて、地域課題の解決に向け、市民や事業者等と協働して取り組んでいる。また、大阪府や豊中市等と連携して「千里ニュータウン再生指針」の趣旨に沿った再生の取組を行うとともに、具体的な建替えや開発にあたっては、「千里ニュータウンのまちづくり指針」に基づき、技術的なことがらを指導している。																			
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	01	大	事	業	06	中	事	業	01	小	事	業	02
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		500	231	304	595	286													
	人件費	職員数	1.30	1.00	3.50	3.50	1.00													
		総額(B)	10,858	8,039	28,595	27,650	8,052													
	総事業費(A+B)		11,358	8,270	28,899	28,245	8,338													
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0												
		国		0	0	0	0	0												
		府		0	0	0	0	0												
	その他		0	0	0	0	0													
	(内訳)	市負担(D)		11,358	8,270	28,899	28,245	8,338												
		地方債		0	0	0	0	0												
		その他		0	0	0	0	0												
一般財源		11,358	8,270	28,899	28,245	8,338														
財源計(C+D)		11,358	8,270	28,899	28,245	8,338														
(10) (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①																	
			②																	
			③																	
	主な委託内容																			
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																		
		②																		
		③																		
<input type="checkbox"/> その他	内容																			

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	千里ニュータウンの各住区では、「千里ニュータウンのまちづくり指針」に沿って地域住民と事業者等でまちづくりに関する話し合いが行われている。		目標	これまで育まれてきた千里ニュータウンのみどり豊かでゆとりある良好な住環境等の発展・継承	
	②	成果内容	多様な主体が話し合う場を設置して、よりきめ細やかなまちづくりを図る。		達成状況	まちづくり指針に沿った事業計画が行われている。 (目標値、実績値ともに0)	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	千里ニュータウンの再生に向け、市民や事業者等が積極的に参画する場を設けることが、まちづくりには必要不可欠となっている。					

事務事業分析シート

所属名	計画調整室	事業名	千里ニュータウンまちづくり支援事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00696				

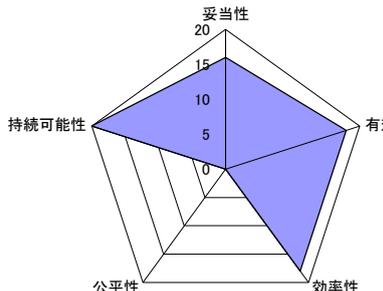
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	計画調整室	事務事業番号	00696
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <p>The radar chart displays the following scores for each criterion:</p> <table border="1"> <tr><th>視点</th><th>評価結果</th></tr> <tr><td>妥当性</td><td>15</td></tr> <tr><td>有効性</td><td>10</td></tr> <tr><td>効率性</td><td>10</td></tr> <tr><td>公平性</td><td>10</td></tr> <tr><td>持続可能性</td><td>10</td></tr> </table>			視点	評価結果	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>地域での協議や意見交換の場を設けることは、市が市民とともに考えてきた千里ニュータウンの再生のまちづくりの考え方が、より広く地域に根差したものとなる機会になっている。こうした機会に得られた地域の想いは、本市をはじめ大阪府や豊中市等で構成された千里ニュータウン再生連絡協議会等の場において、地域の課題などの情報を共有することができるとともに、相互に連携した千里ニュータウンの再生事業の展開が可能となるなど、数値で表すことのできない効果を生み出している。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	近隣センター活性化再生支援事業				
担当部署	都市計画部	室課名	計画調整室	室課長名	曾谷 博之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成25年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	千里ニュータウン再生指針、千里ニュータウン近隣センターのあり方について(案)													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	13							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	千里ニュータウンの近隣センター(藤白台及び高野台サブは除く。)												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	衰退している近隣センターが、地域ニーズに沿った商業施設やコミュニティ施設等を集積した総合的な生活支援拠点となるように、活性化・再生に向けた誘導を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	近隣センターの活性化、再生によるにぎわいの創出。												
(7) 事業概要	近隣センターの活性化・再生を目指して、地権者等の合意形成に向けた協議会等の立ち上げを促すとともに事業計画の策定や事業化検討パートナー選定等を支援する。またオープンスペース等の移管に向けて庁内調整を行い、近隣センターが身近で総合的な生活支援拠点となるよう誘導を図る。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	01	大事業	08	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		110	0	110	0	88							
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	1.00						
		総額(B)	千円	4,176	4,020	4,085	3,950	8,052						
	総事業費(A+B)		4,286	4,020	4,195	3,950	8,140							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		4,286	4,020	4,195	3,950	8,140						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		4,286	4,020	4,195	3,950	8,140								
財源計(C+D)		4,286	4,020	4,195	3,950	8,140								
(10) (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	近隣センターアドバイザー派遣要領に基づき、アドバイザーの派遣を行う。												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 地権者等の合意形成に向けた意識向上や協議会等の立上げを支援する。	目標値	(単位:回)	10.00	10.00	8.00
			実績値	(単位:回)	8.00	6.00	/
		達成度(%)		80.0	60.0		
	目標値の積算方法 会議等の回数(アドバイザー派遣含む)。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	502.50	680.83		
			一般財源(単位:千円)	502.50	680.83		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容		目標				
	②	成果内容	近隣センターの活性化・再生に向けた事業の推進。	達成状況	懇話会等が開催され、合意形成に向けた意識向上が図られた。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	竹見台と桃山台近隣センターにおいては、10月に両地区センターの地権者などで構成される「竹見台・桃山台近隣センター地区再開発研究会」が設立され、3月には、同研究会及び地元自治会、府市等で構成される「竹見台・桃山台近隣センター周辺地区まちづくり協議会」の第1回会議が開催された。これらの活動を経て、近隣センターの活性化・再生に関する地権者等の意識向上や、事業化検討に向けた機運の醸成といった効果を生み出しており、引き続き活性化・再生に向けた誘導を行う。					

事務事業分析シート

所属名	計画調整室	事業名	近隣センター活性化再生支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00697				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	計画調整室	事務事業番号	00697
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>近隣センターは、住区に暮らす住民の身近な商業拠点としての役割を果たしてきたが、居住者のライフスタイルの多様化や社会状況の大きな変化などにより、商業環境は大きく変化し、店舗の閉店や老朽化が進んでいる。このような状況の中、行政が地権者等を支援することで、合意形成に向けた協議会等の立ち上げを促す等により、近隣センターが身近で総合的な生活支援拠点となるよう誘導を図っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	北千里駅周辺活性化支援事業				
担当部名	都市計画部	室課名	計画調整室	室課長名	曾谷 博之

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正 内容	建築基準法の一部改正											
(2)	直近の改正	平成27年													
(3)	根拠法令等	都市計画法、道路法、建築基準法													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	11							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	千里北地区センター												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	活性化ビジョンの具体化												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	にぎわいのある地区拠点の形成													
(7)	事業概要	<p>北千里駅周辺(千里北地区センター)における社会情勢の変化などによる商業機能の課題や、多様な住民ニーズに対応した公共施設整備等の課題を解消し、多様な主体と「活性化ビジョン」を策定した。 本ビジョンの策定に際しては、様々な事務が輻輳するため、それぞれの所管で定められた事務分掌に基づき、役割分担を認識した上で横断的な連携により遂行しようとするものである。</p>													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	04	大事業	04	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		4,531	4,091	98	0	81							
		人件費	職員数	人	1.50	1.20	1.50	0.00	2.00						
			総額(B)	千円	12,528	9,647	12,255	0	16,104						
		総事業費(A+B)		17,059	13,738	12,353	0	16,185							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		17,059	13,738	12,353	0	16,185							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			17,059	13,738	12,353	0	16,185								
財源計(C+D)		17,059	13,738	12,353	0	16,185									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	・関係者会議を8回開催			目標	「活性化ビジョン」に基づき、千里北地区センター再整備の基本的な方向性を示す。
	②	成果内容	「活性化ビジョン」を民間の誘導や支援に活用する。			達成状況	関係者が参加する情報共有や意見交換の場を開催支援した。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		千里北地区センターを取り巻く社会情勢の変化や、地区センターの大半の土地を所有する一般財団法人大阪府タウン管理財団の所有地処分方針等に対し、本ビジョンを活用することで、これまで地区センターが担ってきた役割を継承するとともに、更なる活性化をめざしたまちづくりを行っていくために、必要不可欠なものである。				

事務事業分析シート

所属名	計画調整室	事業名	北千里駅周辺活性化支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00700				

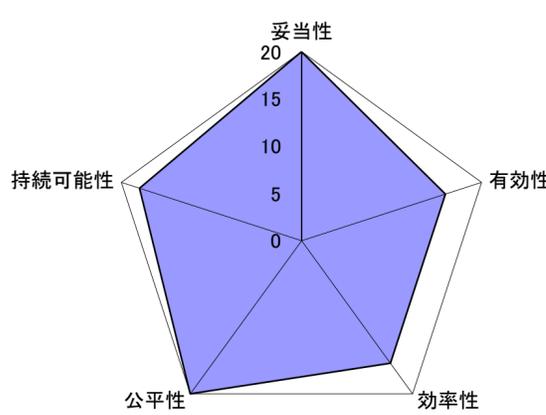
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	計画調整室	事務事業番号	00700
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度末に「活性化ビジョン」を策定し、計画通り進めることができた。 千里北地区センター用地の大半を所有する一般財団法人大阪府タウン管理財団の所有地処分の方針に対し、策定したビジョンを当該用地の売却条件に盛り込むこと、また、ビジョンを活用した民間誘導を図ること、地区センターの活性化に向けた検討体制、マネジメント体制を構築すること等が今後の課題である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	都市計画マスタープラン事業				
担当部署	都市計画部	室課名	計画調整室	室課長名	曾谷 博之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成28年度	改正内容	都市再生特別措置法:地域内に使える既存ストックがある場合にはそれを残しつつ、地域の身の丈にあった規模の市街地整備を可能とする手法の創設				
(2) 直近の改正	平成28年度						
(3) 根拠法令等	都市再生特別措置法 都市計画法						
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)		
	一部にチェックした場合はその説明		立地適正化計画は都市再生特別措置法第81条に基づき市が定めるものであるが、その策定方法				
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	13
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
		範囲等	吹田市全域				
	目標 (どういう状態にしたいのか)	吹田市都市計画マスタープランの一部である吹田市立地適正化計画に基づき、超高齢社会に対応し、健康寿命の延伸や、子育て環境の充実といった良好なまちづくりをめざす。					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	都市機能増進に資する施設の適正な立地をし、持続可能なまちづくりの実現					
(7) 事業概要	立地適正化計画は、都市再生特別措置法第81条に基づき、住宅及び都市機能増進施設の立地の適正化を図るためであり、都市計画マスタープランの一部で、高度化版とみなされます。平成28年度は、都市機能誘導区域のみを定めた吹田市立地適正化計画の策定を行った。						
(8) H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		0	0	13,463	13,144	8,910
	人件費	職員数	0.00	0.00	1.50	1.50	2.00
		人					
	総額(B)		0	0	12,256	11,850	16,104
	総事業費(A+B)		0	0	25,719	24,994	25,014
	特定財源(C)		0	0	6,731	2,600	1,782
	(内訳)	国	0	0	6,731	2,600	1,782
		府	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	18,988	22,394	23,232
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	
一般財源		0	0	18,988	22,394	23,232	
財源計(C+D)		0	0	25,719	24,994	25,014	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① パシフィックコンサルタンツ(株)				
			②				
			③				
	主な委託内容		調査・計画策定				
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①				
②							
③							
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00					
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00					
(3) が困難な場合	① 活動内容	持続的なまちづくりをめざす吹田市立地適正化計画の策定を行うため、庁内検討委員会等の開催を行った。			目標	平成28年度中に都市機能誘導区域のみを設定した吹田市立地適正化計画の策定を行う。		
	② 成果内容	吹田市立地適正化計画の策定を行った。			達成状況	素案の策定に伴い意見募集や説明会を実施し、都市計画審議会の意見を聴いたうえで平成28年度中に策定・公表を行った。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	吹田市立地適正化計画は、都市再生特別措置法第81条に基づき、住宅及び都市機能増進施設の立地の適正化を図るためであり、吹田市都市計画マスタープランの一部で、高度化版とみなされる。したがって都市計画マスタープランの理念である(1)暮らしに安心と快適性をもたらす定住のまちづくり(2)誇りと愛着の持てる活力のあるまちづくりを踏襲することとし、この理念の実現を念頭に置いた計画としている。立地適正化計画はおおむね5年ごとに、当該立地適正化計画の区域における住宅及び都市機能増進施設の立地の適正化に関する施策の実施の状況についての調査、分析及び評価を行うよう努めることとなり、引き続き、立地適正化計画に基づき、事業を推進するとともに、計画の進行管理を行う。						

事務事業分析シート

所属名	計画調整室	事業名	都市計画マスタープラン事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01679				

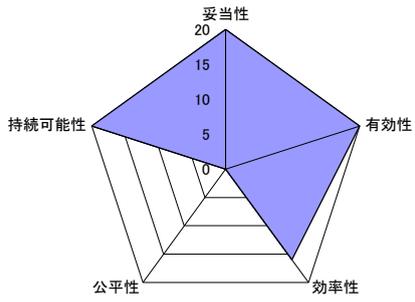
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20			
評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	計画調整室	事務事業番号	01679
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>都市計画マスタープラン事業は、『吹田市都市計画マスタープラン』の理念を実現するための事業であり、地域の特性を生かしたまちづくりを推進し、より一層魅力ある都市空間の実現を目指すものである。平成28年度においては、超高齢社会に対応し、健康寿命の延伸や、子育て環境の充実といった良好なまちづくりを推進していくために、都市機能増進に資する施設の適正な立地を誘導していくことを目的として都市計画マスタープランの高度化版となる『吹田市立地適正化計画』を策定した。今後、この計画に基づき、事業を推進するとともに、計画の進行管理を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)